

事務事業名	有害鳥獣被害防止対策事業			担当	産業環境部 農政課 農政係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			電話番号	0285 - 83 - 8137	
施策名	1	農業の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	真岡市イノシシ被害防止対策事業費補助金交付要綱等				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和56年度～）		
予算科目	1.一般会計	6.農林水産業費	1農業費	3農業振興費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	<p>・カモ・カラスによる農作物への被害を防止するため、昭和56年度から稲作近代化推進協議会（JAはが野）が実施している有害鳥獣駆除を支援している。また、平成19年度からはイノシシによる被害を防止するため、イノシシ駆除に対しても支援をしている。（補助金700千円、市1/2・県1/2）</p> <p>・平成19年度から、イノシシを寄せ付けないための電気柵などのに対して支援している。（市1/2、受益者1/2）</p> <p>稲作近代化推進協議会が猟友会に委託して実施しているカモ・カラス・イノシシの駆除費の一部を助成する。（カモ・カラス駆除助成額 100,000円・イノシシ駆除助成額 700,000円）駆除日数 カモ・カラス駆除6日 イノシシ駆除293日</p> <p>国では、イノシシや鳥類の捕獲に係る活動経費として、真岡市鳥獣被害防止対策協議会を通じて狩猟者に助成金を交付している。（イノシシ8,000円/頭、鳥類200円/羽）イノシシ対策の電気柵等の設置費の1/2(限度額50千円)、イノシシ対策のLEDライト設置費の1/2(限度額25千円)を助成する。</p> <p>有害鳥獣捕獲従事者の保険加入金の一部(限度額4,200円)を助成する。</p>						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
27年度実績 駆除日数 カモ・カラス駆除6日 イノシシ駆除293日 カモ・カラス駆除助成額 100,000円 イノシシ駆除助成額 700,000円		名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	
28年度計画 27年度と同じ		ア	有害鳥獣駆除費補助金	千円	955	977	988	1,061	1,003
		イ	電気柵等設置補助金	千円	651	233	65	65	550
		ウ							
		エ							
		オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・稲作近代化推進協議会 ・イノシシの被害を受けている農業者		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
		名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	
		ア	稲作近代化推進協議会構成団体	団体	6	6	6	6	6
		イ	イノシシの被害が予想される集落	集落	7	7	7	7	7
		ウ							
		エ							
		オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・稲作近代化推進協議会の有害鳥獣駆除の適正実施を促す。 ・イノシシ被害の自己防衛のため電気柵等の設置を促す。		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
		名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	
		ア	カモ・カラスの駆除数	羽	715	726	530	697	800
		イ	イノシシの駆除数	頭	55	78	80	98	110
		ウ	電気柵設置	m	5,517	2,700	350	560	2,500
		エ							
		オ							
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・カモ・カラス・イノシシによる農作物被害の緩和		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
		名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	
		ア	カモ・カラス被害額	千円	12,012	12,153	12,550	12,780	11,294
		イ	イノシシの被害額	千円	13,984	18,573	12,318	12,041	11,086
		ウ							
		エ							
		オ							
(2) 総事業費の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円	0	0	0	0		
		県支出金	千円	388	394	396	289	400	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1,280	841	816	916	1,345		
	事業費計(A)	千円	1,668	1,235	1,212	1,205	1,745		
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	150	150	150	150	150	
		人件費計(B)	千円	630	610	633	629	629	
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,298	1,845	1,845	1,834	2,374		

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	カモ、カラスが田植え後の水田を荒らす被害が多く発生したので、稲作近代化推進協議会が猟友会に委託して駆除を実施するようになった。 また、平成18年頃から小貝川東部地区においてイノシシによる農作物被害が多発するようになったので、稲作近代化推進協議会が猟友会に委託して駆除を実施している。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	イノシシの被害は年々増加している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	議会よりイノシシの駆除の強化を求められている。

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有害鳥獣駆除は農業を振興するうえで重要であるので市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有害鳥獣駆除は農業を振興するうえで重要であるので公共関与は妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 稲作近代化推進協議会による有害鳥獣駆除と、個人による防護柵の設置などの防衛策を実施しており適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 有害鳥獣駆除による個体数調整と、防護柵の設置などの防衛策を実施しており向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない カモ・カラス・イノシシなどの被害が増大するので廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の経費であり削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の人件費であり削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 関係機関が応分の負担をしており、公平公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							